

平成 28 年度 技術情報第 5 号
ネギ ネギアザミウマ・ネギハモグリバエ

平成 28 年 8 月 31 日
静岡県病害虫防除所長

県西部地域のネギ生産ほ場でネギアザミウマとネギハモグリバエが多発しています。被害の拡大が予想されるため、防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

8 月中下旬の巡回調査では、ネギアザミウマの平均寄生株率は 63.6% (平年 33.4%)、同発生面積率は 100% (平年 80%)、ネギハモグリバエの平均寄生株率は 51.6% (平年 30.3%)、同発生面積率は 100% (平年 89%) で両種ともに平年より高かった (表 1)。

県内産地の防除員から多発の報告がある。

2 防除方法

- (1) 発生を確認したら防除を実施する。防除薬剤については表 2、表 3 を参考にするとともに、農薬の使用に当っては必ずラベルを確認し使用基準を遵守する。
- (2) 液剤散布では展着剤を加用し、薬液が根元から葉先まで十分に付着するように、丁寧に散布する。
- (3) 薬剤等の詳細については静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準 (<http://www.s-boujo.jp>) を確認する。また、不明な点は病害虫防除所、農林事務所、農協等指導機関等に問い合わせる。



図 1 ネギアザミウマ (成虫)



図 2 ネギハモグリバエ (成虫)

表 1 8 月のネギアザミウマとネギハモグリバエの発生状況

害虫名		寄生株率(%)	発生面積率(%)
ネギアザミウマ	本年平均値	63.6	100
	平年値	33.4	80
ネギハモグリバエ	本年平均値	51.6	100
	平年値	30.3	89

調査時期:平成 28 年 8 月 24 日

県西部(浜松・磐田)地域 10 か所調査 平年値は過去 10 年間の平均値

表2 ネギアザミウマの主な防除薬剤(作物:ねぎ)

適用害虫名	商品名	使用方法	希釈倍数・使用量	時期	回数	IRAC 作用機分類*	系統名
アザミウマ類	アドマイヤー1粒剤	植溝土壌混和	4kg/10a	定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	アドマイヤーフロアブル	散布	2000~4000倍	収穫14日前まで	2回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	アドマイヤーフロアブル	灌注	200倍	定植前日~定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	アルバリン粒剤	株元散布	6kg/10a	生育期(但し、収穫3日前まで)	2回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	アルバリン粒剤	株元散布	6kg/10a	定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	アルバリン粒剤	播溝土壌混和	6kg/10a	は種時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	アルバリン顆粒水溶剤	株元灌注	400倍	生育期(但し、収穫14日前まで)	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	アルバリン顆粒水溶剤	灌注	50倍	定植前日~定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	スタークル粒剤	株元散布	6kg/10a	生育期(但し、収穫3日前まで)	2回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	スタークル粒剤	株元散布	6kg/10a	定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	スタークル粒剤	播溝土壌混和	6kg/10a	は種時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	スタークル顆粒水溶剤	株元灌注	400倍	生育期(但し、収穫14日前まで)	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	スタークル顆粒水溶剤	灌注	50倍	定植前日~定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	散布	2500~5000倍	収穫3日前まで	3回以内	5	スピノシン系殺虫剤
アザミウマ類	ディアナSC	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5	スピノシン系殺虫剤
アザミウマ類	ハチハチ乳剤	散布	1000倍	収穫3日前まで	2回以内	21A	その他の合成殺虫剤
アザミウマ類	モスピラン顆粒水溶剤	散布	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギアザミウマ	アクタラ粒剤5	作条混和	6~9kg/10a	植付時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギアザミウマ	アクタラ粒剤5	作条混和	6kg/10a	は種時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	散布	1000~2000倍	収穫3日前まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギアザミウマ	ウララDF	散布	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	29	その他の合成殺虫剤
ネギアザミウマ	コルト顆粒水和剤	散布	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	9B	その他の合成殺虫剤
ネギアザミウマ	ダントツ水溶剤	散布	2000~4000倍	収穫3日前まで	4回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギアザミウマ	ダントツ粒剤	株元散布	3~6kg/10a	収穫3日前まで	4回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギアザミウマ	プレオフロアブル	散布	1000倍	収穫3日前まで	4回以内	un	その他の合成殺虫剤
ネギアザミウマ	ベストガード粒剤	植溝処理土壌混和	6kg/10a	定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギアザミウマ	ランネット45DF	散布	1000~2000倍	収穫7日前まで	4回以内	1A	カーバメート系殺虫剤
ネギアザミウマ	リーフガード顆粒水和剤	散布	1500倍	収穫7日前まで	2回以内	14	ネライストキシン系殺虫剤

* 世界農薬工業連盟 殺虫剤抵抗性対策委員会(IRAC)による分類。農薬抵抗性の発達を回避するため、同一コードの薬剤は連用を避ける。

表3 ネギハモグリバエの主な防除薬剤（作物:ねぎ）

適用害虫名	商品名	使用方法	希釈倍数・使用量	時期	回数	IRAC 作用機分類*	系統名
ハモグリバエ類	アルバリン粒剤	株元散布	6~9kg/10a	生育期（但し、収穫3日前まで）	2回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ハモグリバエ類	アルバリン粒剤	株元散布	6kg/10a	定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ハモグリバエ類	アルバリン粒剤	播溝土壌混和	6kg/10a	は種時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ハモグリバエ類	アルバリン顆粒水溶剤	株元灌注	400倍	生育期（但し、収穫14日前まで）	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ハモグリバエ類	アルバリン顆粒水溶剤	灌注	50倍	定植前日~定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ハモグリバエ類	スタークル粒剤	株元散布	6~9kg/10a	生育期（但し、収穫3日前まで）	2回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ハモグリバエ類	スタークル粒剤	株元散布	6kg/10a	定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ハモグリバエ類	スタークル粒剤	播溝土壌混和	6kg/10a	は種時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ハモグリバエ類	スタークル顆粒水溶剤	株元灌注	400倍	生育期（但し、収穫14日前まで）	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ハモグリバエ類	スタークル顆粒水溶剤	灌注	50倍	定植前日~定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギハモグリバエ	カスケード乳剤	散布	4000倍	収穫14日前まで	3回以内	15	昆虫成長制御剤
ネギハモグリバエ	ダイアジノン乳剤40	散布	1000~2000倍	収穫21日前まで	2回以内	1B	有機リン系殺虫剤
ネギハモグリバエ	ダントツ水溶剤	散布	2000~4000倍	収穫3日前まで	4回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギハモグリバエ	ダントツ粒剤	株元散布	3~6kg/10a	収穫3日前まで	4回以内	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギハモグリバエ	ディアナSC	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5	スピノシン系殺虫剤
ネギハモグリバエ	ベストガード粒剤	植溝処理土壌混和	6kg/10a	定植時	1回	4A	ネオニコチノイド系殺虫剤
ネギハモグリバエ	ペリマークSC	灌注	400倍	育苗期後半~定植当日	1回	28	ジアミド系殺虫剤
ネギハモグリバエ	リーフガード顆粒水和剤	散布	1500倍	収穫7日前まで	2回以内	14	ネライストキシン系殺虫剤

* 世界農薬工業連盟 殺虫剤抵抗性対策委員会 (IRAC)による分類。農薬抵抗性の発達を回避するため、同一コードの薬剤は連用を避ける。

問い合わせ先：静岡県病害虫防除所（TEL：0538-36-1543）

病害虫防除所 HP（URL）：

<http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>

病害虫防除基準 HP（URL）：<http://www.s-boujo.jp/>